

2009年度
近畿YOC審判講習会
参加者報告書

-
- 【日 時】 2009年8月8日（土）～8月9日（日）
【場 所】 木津川市体育館
【大 会】 第47回近畿地区国立大学体育大会
【参加者】 （京都からの講習生）田中 洋介 ・ 鬼塚 誠太郎

1. 報告者		田中 洋介			
2. 従事した試合					
	回戦	Aチーム	VS	Bチーム	
	主審	副審		講師	
①	女子1回戦	大阪大	VS	滋賀大	
	田中洋 (京都)	荒木氏 (奈良)		川路氏 (京都)	
②	男子2回戦	大阪教育大	VS	和歌山大	
	田中洋 (京都)	西川氏 (兵庫)		西浦氏 (奈良)	
③			VS		
6. 感想					
<p>試合の中で講師の方々から指摘があったことは、今回の感想の中では省かせて頂き、今の率直な感想のみをこの中で書かせて頂きます。短文ではありますが、感想ということで報告させて頂きます。</p> <p>今回は、他府県の公認の方とご一緒するということから、試合前にできるだけ綿密にカンファレンスを行うことに力点をおいていました。その結果、相手審判の意図していること、また試合を行う選手についての情報を共有することによって、試合中、注目となる選手に意識することがお互いにできたと思います。</p> <p>また、試合に挑む前にしっかりとした準備が必要ということを改めて感じました。私と同じように、仕事をしながら週末は審判活動を行う方々が沢山いて、そのために、いろいろな努力を日々行っているという話を聞きました。努力のやり方は、人それぞれ千差万別ではありますが、このようにお互いに刺激し合い、切磋琢磨しようという気持ちになれたことが一番よかったと感じております。この経験を生かして、今後も引き続き、人生において審判活動を、はつらつと楽しんでいくとともに、試合では、躍動感があり、颯爽とした判定ができるように日々精進していきたいです。</p> <p>なお、ありきたりな言い回しで申し訳ありませんが、今回このような機会を与えて頂き、またこのクリニックで、ご指導して頂きました先生方々には改めて御礼申し上げます。</p>					

1. 報告者		鬼塚 誠太郎		
2. 従事した試合				
	回戦	Aチーム	VS	Bチーム
	主審	副審		講師
①	男子1回戦	大阪外国語大	VS	兵庫教育大
	小川氏(滋賀)	鬼塚(京都)		那須氏(和歌山)
②	男子2回戦	兵庫教育大	VS	大阪大学
	久住氏(滋賀)	鬼塚(京都)		伊藤氏(京都)
③			VS	
6. 感想				
<p>今回、近畿 YOC に参加するにあたり、数点の目標を掲げました。■いつも通りのレフリーを心がけること。その上で、■確認を徹底した判定をすること。かつ■毅然とした態度で望むことです。</p> <p>第1日目は、小川氏と大阪外大ー兵庫教育大のゲームに従事しました。比較的判定しやすいゲームでありながらも、プレスディフェンスに対する対応の遅れや、3ないし4のエリアに対する視野の当て方が悪く、ゲームに大きなインパクトを与えました。反省では、プレゲームカンファレンスの充実が必要である点、より早くスペースを捉える必要がある点が挙げられ、当初の目標の詰めの甘さ、ないし具体性の欠如を痛感しました。</p> <p>第2日目は、1日目の反省を生かし、十分なプレゲームカンファレンスを行いました。マニュアルにある内容に加え、自分が苦手としている位置取りやシチュエーションも具体的に話し合うことで、ゲーム中のトラブルを最小限に防げたと感じました。しかしながら反省では、■確認とポジショニング、■基準の一定さについてご指摘頂き、改めてバスケットに対する理解やそれに基づく予測、ポジショニングの工夫、一層の強化が必要と感じました。</p> <p>今回の近畿 YOC の参加は、バスケットのレフリーを続ける上で、非常に意味のあるものでした。第1に、初めて吹く相手審判とのコミュニケーションの重要性。第2に自分自身のゲームへの取り組み(入り方)の弱さの認識。第3に、オフ・ザ・コート(仕事や家庭の事情を配慮した)での環境作り。今回の経験を踏まえ、「彼が吹くゲームなら安心できる」と選手やコーチから厚い信頼を得られるレフリーを目指そうと思います。</p> <p>今後とも、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。</p>				